

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-299441

(43)Date of publication of application : 25.11.1997

(51)Int.Cl.

A61H 39/04

A61H 23/02

(21)Application number : 08-151460

(71)Applicant : KOBAYASHI CHINATSU

(22)Date of filing : 10.05.1996

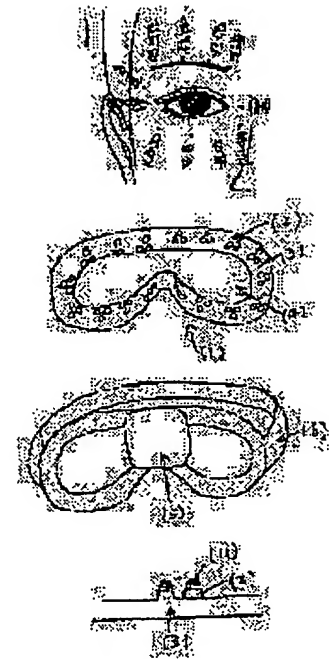
(72)Inventor : KOBAYASHI CHINATSU

(54) GLASSES TYPE HEALTH TOOL

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make it possible for any person to simply massage the right spots around the eyes for recovering from eye strain.

SOLUTION: By forming projections at the same positions as those of the right spots around the eyes on the inside of glasses and fitting a device 5 being vibrated by means of a motor at the center of the glasses, vibration is transferred to the projections to stimulate the right spots around the eyes. Wrinkles of the eyes can be prevented thereby from being generated. In addition, air permeability of the nose becomes better by stimulating a right spot called through-nose.



BEST AVAILABLE COPY

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-299441

(43) 公開日 平成9年(1997)11月25日

(51) Int.Cl. ^a	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 H 39/04			A 6 1 H 39/04	M
23/02	3 7 0		23/02	3 7 0

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平8-151460

(22) 出願日 平成8年(1996)5月10日

(71) 出願人 596085003

小林 千夏

東京都大田区大森中1丁目7番地21号 ヴ
ィルズ大森町301号

(72) 発明者 小林 千夏

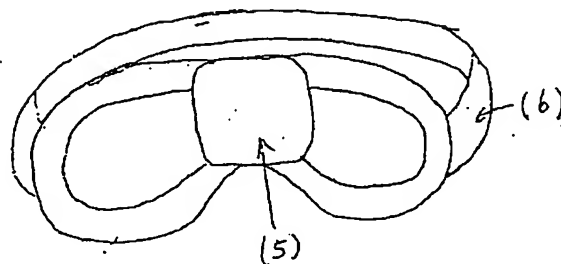
東京都大田区大森中1丁目7番地21号 ヴ
ィルズ大森町301号

(54) 【発明の名称】 メガネ型健康器具

(57) 【要約】

【目的】 この発明は、目の疲れを取るために目の回りのつぼを誰でも簡単にマッサージできるようにしたものである。

【構成】 メガネの内側に目の回りのつぼと同じ位置に突起物を設け、メガネの中央にモーターで振動する装置を取り付けることにより、突起物に振動が伝わり、目の回りのつぼを刺激することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 目の回りのつぼに合わせたメガネの突起物が振動してつぼを刺激させる健康器具。

【発明の詳細な説明】

【0001】 【産業上の利用分野】 この発明は、目の健康に関するものである。

【0002】 【従来の技術】 従来は、目が疲れた時は目薬をさしたり、目を冷やしたり、目の回りのつぼを指でマッサージして目の疲れを取っていたが、目の回りのつぼをマッサージすることはつぼの位置を良く知っている人でなければ難しい。

【0003】 【発明が解決しようとする課題】 本発明は、誰でも簡単に目のつぼをマッサージできるように解決する事である。

【0004】 【課題を解決するための手段】 いま、その構成を説明すると、ゴーグルと同じ形状のメガネで、顔に接触する部分に目の回りのつぼと同じ位置に突起物を設け、つぼの部分に当たるようにする。メガネはゴムバンドで頭に固定する。さらにゴーグルの中央で鼻の上部にモーターで振動する装置を取り付けて固定する。モーターは回転部の先端に偏心するおもりを付けて電池で駆動するようにする。

【0005】 【作用】 本発明の作用を説明すると、モータを回転させることによりゴーグル全体が振動し、つぼの突起物まで振動が伝わり目の回りのつぼを刺激させる。

【0006】 【実施例】 本発明の実施例を説明すると、図1のようにゴーグルと同じ形状のメガネ(1)で、顔に接触する部分に目の回りのつぼと同じ位置に突起物(2)を3個ずつ設ける。フレーム(3)と突起部(2)の材質は、柔らかい合成樹脂とし、レンズ(4)はプラスチックとする。突起物を複数個にしたのは、顔の大きさによりつぼの位置がずれても対応できるようにしたためである。目の回りのつぼは図2のような位置にある。図3のように突起物とは反対側のメガネの中央部に振動バック(5)をツメの引っ掛け又は接着剤で固定する。メガネはゴムバンド(6)で頭に取り付ける。

振動バック(5)は図4のようにモーター(7)と電池(8)で構成されており、モーター(7)の先端に偏心するおもり(9)を固定する。このメガネ(1)を顔にかけ、スイッチ(10)をONに入れることによりモーター(7)が回転し、おもり(9)が偏心しているため振動バック(5)が振動し、さらにメガネ(1)全体が振動し、つぼの突起物(2)まで振動が伝わって目の回りのつぼを刺激させる。図5のように突起物(2)の先端に磁石、又はセラミック(11)を付けることによりさらに血行促進効果を増すことができる。

【0007】 【発明の効果】 発明の効果を説明すると、このメガネをかけることにより、誰でも簡単に目の回りのつぼをマッサージすることができ、目の疲れを取ることができる。さらに絲竹空、魚尾、瞳子寥、月亮、四白というつぼを刺激することにより、目の小じわを防ぐことができる。又、鼻通というつぼを刺激することにより、鼻の通気性が良くなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明メガネ型健康器具の突起部取り付け図

【図2】 目の回りのつぼの位置図

【図3】 本発明メガネ型健康器具の振動バック取り付け図

【図4】 本発明メガネ型健康器具の振動バック内部図

【図5】 本発明メガネ型健康器具の突起部図

【符号の説明】

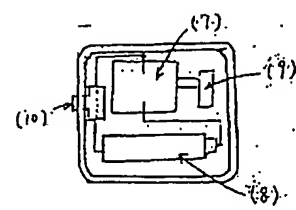
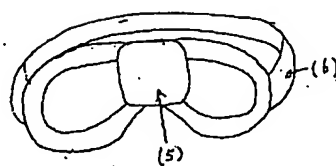
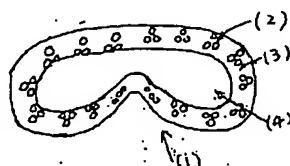
- 1はゴーグルと同じ形状のメガネ
- 2は突起物
- 3はフレーム
- 4はレンズ
- 5は振動バック
- 6はゴムバンド
- 7はモーター
- 8は電池
- 9は偏心するおもり
- 10はスイッチ
- 11は磁石、又はセラミック

【図1】

【図2】

【図3】

【図4】



(3)

特開平09-299441

.(【図5】)

